

# まちのいじどもと



第二号：二〇二〇、十二

## いじどもと絵本

発行・編集

まちの保育園 吉祥寺

### 『まちのこどもと』とは

まちの保育園 吉祥寺が地域の子育て世帯の皆様へ発信する小さな子育て情報誌「まちのこどもと」

毎回テーマを設けながら、まちの保育園が大切にしていることや、子どもたちの豊かな姿を、園だよりから抜粋してお伝えしていきます。

まず第一号から複数号にわたり「こどもと絵本」をテーマに、子どもたちの姿をお伝えいたします。



### 『絵本の楽しみ方』（2016年度…1歳児より）

まちの保育園 吉祥寺の絵本コーナーには量が敷いてあり、一人でじっくり読んだり保育者に読んでもらったりと、ひと息つける空間になっています。季節や月に絵本を入れ替えているのですが、さて子どもたちはどんな絵本を手にとっているのでしょうか？

生き物や食べ物が身近に感じられて、関心も大きいようで『かえるさんくわっくわっ』と『くだもの』が人気。『かえるさん』の本はページを開くと『ぴょん』と跳ぶ姿を言葉にしたり、「かえるさん」と呼びかけ、みんなで『かえるの歌』を身振り手振りを付けて歌い始めます。絵本を通じて、友だちと一緒にかえるの世界を表現し、楽しむ姿は「歳児クラスらしくほほえましいです。

『くだもの』の本は、給食に出てくるりんごやバナナが描かれていて「さあ、どうぞ」の言葉を覚え、そのまま絵本の中のくだものを、指でつまんで口へ運んで「パクリッ！モグモグ」その表情はとっても美味しそう。日々の食事の体験が基となり『こんな味だったかな？』『美味しかったな』と、想像力も豊かになっていきますね。おやつで本物のくだものを食べたあとに絵本コーナーに向かい、ページを広げて「あつたねー、たべたねー」と見せてくれたりもします。絵本の中のものとお物がしっかりと繋がっているのが感じられます。

絵本が大好きな「歳児クラスは、『絵本を読むよ』と声をかけると、畳のスペースへ集まっています。最近では簡単なストーリーのある絵本や、紙芝居も、集中して見えています。一人、自分のペースで読む楽しさ、一対一で大人に読んでもらう嬉しさ、みんなで見るおもしろさなどを感じながら、様々な絵本や物語に触れて、個々の感性が育つてくれるといいなと思います。



### 今、人気なのが…（2016年度…0歳児より）

大好きな絵本のなかでも、最近のZOOは『くだもの』です。バナナやイチゴなど、知っている果物が出てくると、「あーん」「ぱく」と、絵からつまんで口へ運び、食べる真似をするようになってきています。やりとりをしながらの真似っこ遊びと、毎日の食事の経験が学びとなり、繋がっているのだらうと感じています。言葉の理解も進み、「ぞうさん♪」を歌うと、ぞうの絵本を持ってきたり、「くまさんくまさん♪」のわらべうたを歌うと、くまのぬいぐるみを持ってきたりと楽しいやりとりが増えています。繰り返すことが、次のやりとりや言葉に繋がっていくように、声かけやかかわりを大切にしていきたいと思っています。

